

## デジタルアーカイブのポータル構築に関して

### 1 構築の背景

国立国会図書館電子図書館中期計画 2004、e-JAPAN 重点計画 2004 において、国のデジタルアーカイブのポータルの構築を推進することが求められている。

### 2 デジタルアーカイブポータルの概要

#### (1) ポータルの目標

- (ア) 図書館の枠を越えて、国、公共機関、学界に加えて民間、個人が保有する情報をワンストップで的確に閲覧利用できるようにする。
- (イ) 主題、情報の特性、特定利用者層に応じたきめ細かなサービスを提供する各専門分野のサービスプロバイダ、ポータルサイトと連携して、様々な利用者、利用形態でのニーズに応えられるようにする。

#### (2) 構築方針

- (ア) データプロバイダ側が共通インターフェースを実装することにより、ポータル側での個別設定なしにアクセスできるようになることを目指す。
- (イ) データプロバイダが保有するデータベース内およびリクエストに応じて動的に提供されるコンテンツ(いわゆる深層ウェブにあるコンテンツ)への直接アクセスを目指す。
- (ウ) 各デジタルアーカイブが統合的に利用できるようになるための環境整備の推進活動を行う。

#### (3) デジタルアーカイブポータル概念図

デジタルアーカイブポータル構築で必要な機能モジュールは、別紙1の通り。

### 3 デジタルアーカイブのプロトタイプ

#### (1) プロトタイプの目標

- 平成 18 年度は本格システムの構築、平成 16～17年度はプロトタイプの構築とプロトタイプの評価・検証結果を踏まえて本格システムの設計を行う。
- (ア) 平成 16 年度： 将来のデジタルアーカイブのポータルイメージを共有する。
- (イ) 平成 17 年度： プロトタイプを試行的に提供することにより、機能の評価、有用性の検証を行うとともに、プロトタイプの機能強化及びコンテンツの拡充を行い検証する。

#### (2) プロトタイプで提供するサービス要件

##### (ア) 対象コンテンツ

- ① デジタルコンテンツとして、近代デジタルライブラリのイメージ画像、青空文庫のフルテキスト、貴重書のイメージ画像(サンプル)
- ② サイト情報として、Dnavi で提供している有用なデータベースサイトの入り口情報、関係府省等が保有するデジタルアーカイブへの入り口情報

##### (イ) 提供機能

##### ① 一次情報の一元的検索環境

- (a) 近代デジタルライブラリ、青空文庫や貴重書等のデジタルコンテンツを一つの検索窓から検索して、書誌の一覧表示ができるようにする
- (b) 一覧表示されたものから、それぞれのデジタルアーカイブのコンテンツの表示画面に画面遷移できるようにする

②有用なウェブサイト及びデータベースの入り口へナビゲーションする機能の提供

(3) ポータルプロトタイプのご概念図

デジタルアーカイブポータルプロトタイプ機能情報関係図は別紙2の通り

#### 4 関係機関の協力

実施において期待される任務分担。

(1) サービスプロバイダ側

(ア) NDL デジタルアーカイブポータル

①他のポータルサイトとのパートナー関係(協力関係)の確立

②目録規則等のガイドラインの提示およびガイドラインの普及啓発活動

③コンテンツを共通仕様で検索および閲覧できるようにしたインターフェースの提示および仕様の普及啓発活動

(イ) 各ポータル機関

①コンテンツを共通仕様で検索および閲覧するためのクライアント側インターフェースの実装

(2) データプロバイダ側

(ア) デジタルアーカイブ提供機関

①内容記述情報等のガイドラインを遵守して、可能な限り書誌調整されたメタデータの付与

②コンテンツを共通仕様で検索および閲覧できるようにしたサーバ側インターフェースの実装

(3) 技術提供側(ベンダ、研究機関)

(ア) 必要に応じてデータ処理能力を向上させられる仮想サーバシステム

(イ) 長期的に保存でき、かつ、必要に応じて拡張できるストレージシステム

(ウ) 標準的な仕様のメタデータおよびコンテンツを作成するための技術開発等

(エ) ナレッジデータベース、ナレッジコミュニケーションのための技術開発等

(オ) 検索を容易にする技術開発等

(カ) Web サービス連携のための技術開発等

#### 5 課題

(1) ポータルとしての実現可能な最終イメージの明確化

(ア) 明確なブランドデザインと、アクションプランの国民への約束が必要

①特定主題、提供元、利用者層に特化しない NDL ポータルサイトと、Google、Yahoo の違いは何か。

②Google、Yahoo が実現できそうなことを、NDL として実施する意義は何か？

(イ) 他のポータルとの協力関係はどのようにして構築していくか

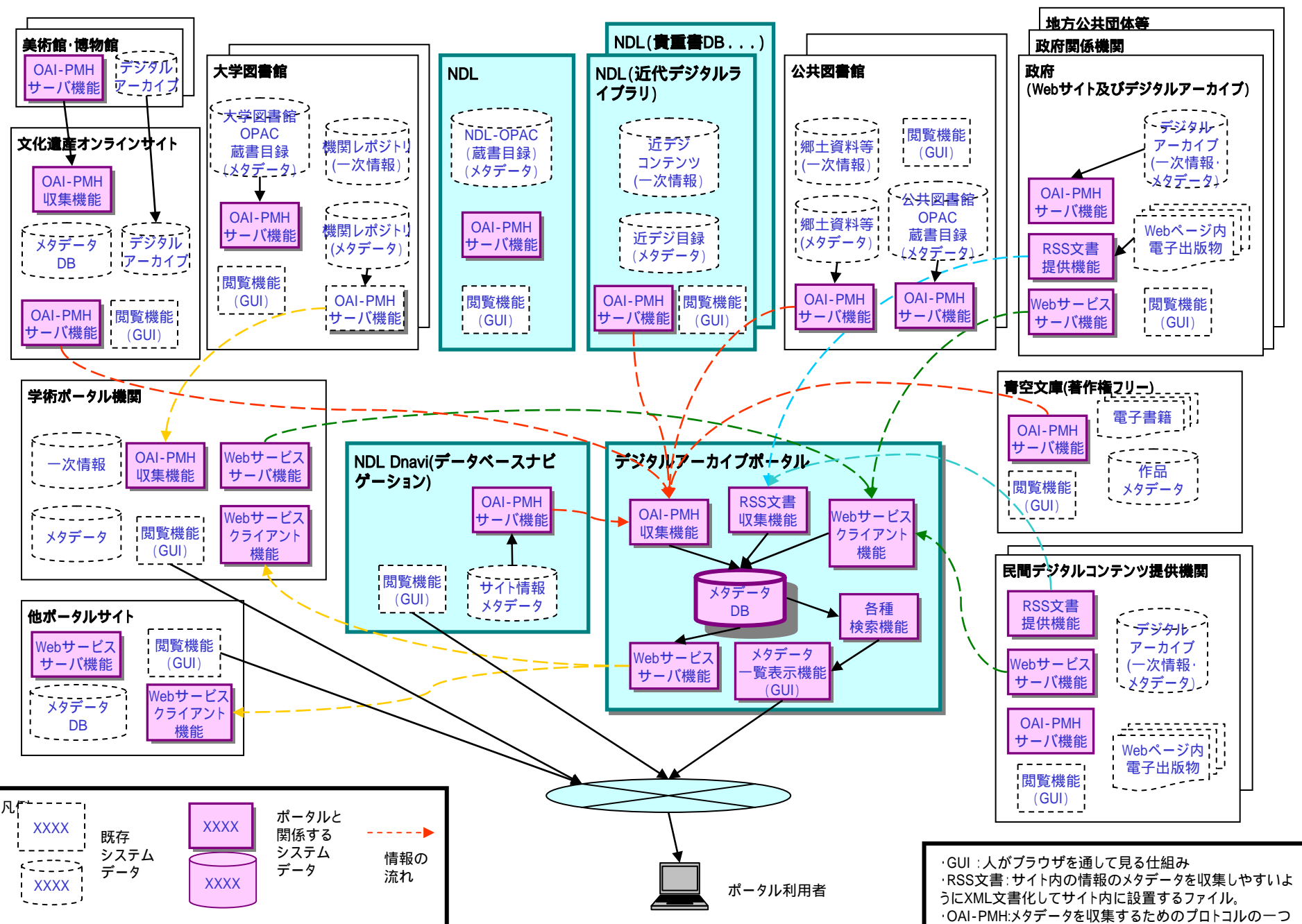
(2) NDL-OPAC を含めて NDL の個々のデジタルアーカイブに共通インターフェースを実装してデータプロバイダとなるスケジュールの明確化

(3) デジタル化されていない資料の申込みシステム(遠隔複写申込み、図書館間相互貸借、民間オンライン書店)との Web サービス連携の検討

#### 6 おわりに

データプロバイダ、サービスプロバイダのそれぞれの機関が、それぞれインセンティブを持って協力して実施し、発展していけることが重要であり、関係機関・関係各位の御協力を願いたい。

# (別紙1) デジタルアーカイブポータル構築に必要な機能モジュール



(別紙2) デジタルアーカイブポータルのプロトタイプ機能情報関連図(DFD) 【16年度構築分】

